

ITバレー推進部

システム開発補助金

コンソーシアム活用型 ITビジネス創出支援事業補助金

補助制度概要

目 的

県内IT中小企業が取り組む
産学官連携コンソーシアムを
活用した共創による革新的な
ITシステム開発に対して補助
金を交付する

申請期間

令和7年4月10日(木)

から

令和7年5月30日(金) ※必着

補助上限額 及び補助率

補助上限額： **400万円**

補 助 率： 補助対象経費
の1/2以内

採択予定件数： 10件程度

補助対象者

- ◆ 交付を受けた後に、機構の状況調査に協力すること
- ◆ **県内IT中小企業** であること

☒ 長野県内に事業所を有すること

☒ 主な事業内容が、以下の日本標準産業分類中分類であること

37 通信業

39 情報サービス業

40 インターネット不随サービス業

なお、上記に該当しない事業者であっても、

IT関連のシステムやサービスを外部に提供する活動を行っている(行う見込みを含む。)と認められる事業者は、上記の産業区分である事業者とみなす

補助対象事業

昨年度

主な事業内容が前述の産業分類に該当しない事業者であっても、IT関連のシステムやサービスを外部に提供することで経常的に収益を得ていると認められる事業者は～

今年度

主な事業内容が前述の産業分類に該当しない事業者であっても、IT関連のシステムやサービスを外部に提供する活動を行っている(行う見込みを含む。)と認められる事業者は～

今年度は“**補助対象事業者を拡充**”

※申請様式類+サービスを証明できるもの(HP、事業予定表等)の提出で対象とみなす

補助対象事業

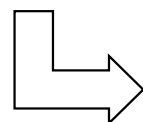
※ 産学官連携コンソーシアムとは…
県内IT中小企業と県内に所在する
民間企業、教育機関、自治体等
1者以上で組成される共同事業体

◆ 次のいずれかに該当する産学官連携コンソーシアム※を活用した
共創による革新的なITシステム開発及び実証実験に係る事業

(1) 信州ITバレー構想の「共創による革新的なITビジネスの創出・誘発」に資する次のもの

- ☒ VR、ブロックチェーン、ロボティクス、宇宙産業、メタバース等
- ☒ 新たな価値を創出して新たな社会の仕組みに変革することが期待されるもの

(2) 教育、結婚・出産・子育て、医療・福祉、モビリティ、インフラ、防災・減災、県民生活・文化、環境、商工業、観光、農業及び林業に関する課題解決に資するもの



対象を“より幅広い産業に”変更

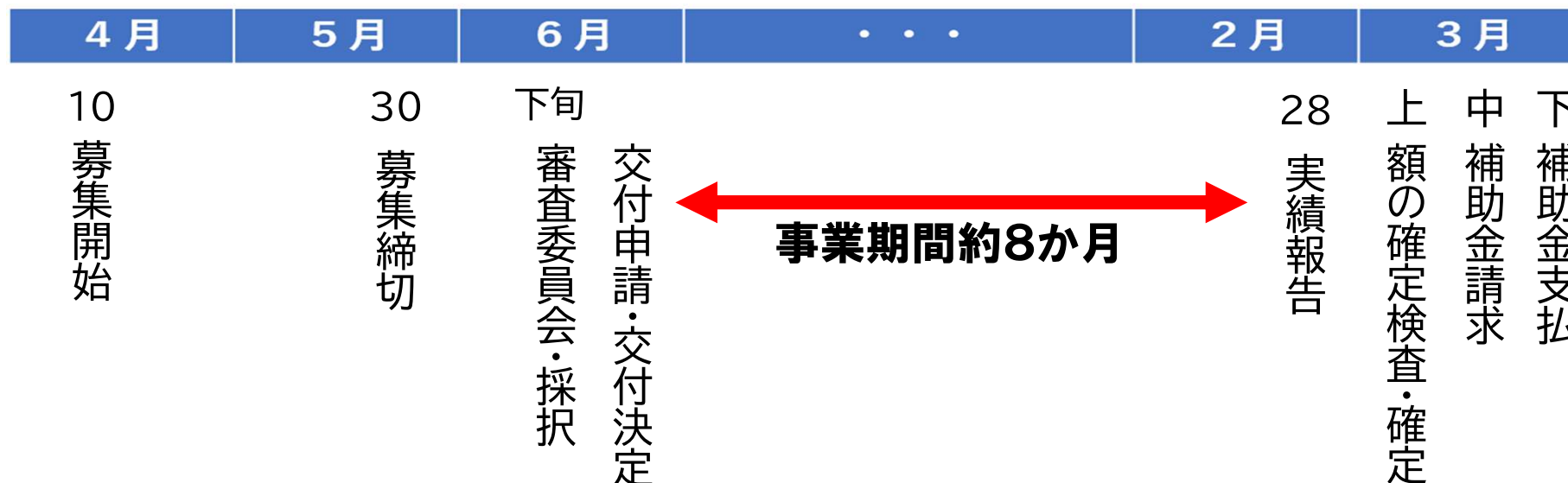
補助対象経費

人件費、原材料・消耗品、謝金、旅費、使用料及び賃借料、委託費、広告料、印刷製本費、通信運搬費 等

経費に関する主な留意事項

- (1) 経費区分を明確にし、証拠書類によって金額が確認できるようにしてください。
- (2) 10万円以上の発注(委託契約を含む)を行う場合は、基本的に2者以上からの見積が必要となります。
- (3) 支払の事実に関する客観性の担保のため、原則、支払は銀行振込としてください。
- (4) 交付決定日より前に契約や発注、支出を行った経費は対象となりません。
- (5) 事業完了日までに支払いを完了していない経費は対象となりません。
- (6) 支出に関するすべての証拠書類の保存・保管をお願いします。

スケジュール



スケジュールに関する主な留意事項

- (1) 採択者は審査委員会において決定し、必要に応じてヒアリング、現地調査を実施します。
- (2) 補助対象経費総額の20%を超える増減がある場合は、変更承認申請が必要です。
- (3) 補助事業終了後に成果の公表を求めることがあります。
- (4) 申込多数の場合は、審査委員会前に書類選考を行う場合があります。

審査基準について

項目	審査基準
①	事業計画が具体的で、実行可能かつ効果的な内容のものか。
②	申請事業者がITシステム開発等の主要な役割を担い、産学官連携コンソーシアムの役割が明確であるか。
③	従来システム(自社既存事業、競合他社事業)と比較した違いや特徴が明確であるか。
④	補助事業を的確に遂行する組織、人員等を有しているか。
⑤	製品等の市場が明確かつ妥当であり、補助事業の成果を高めるための具体的な工夫がみられるか。
⑥	補助事業の開始から事業化までの具体的な進め方が検討されており、実施スケジュールが現実的で無理がないか。
⑦	必要となる経費、費目を過不足なく考慮し、補助金の投入効果が高い計画か。 (費用対効果の高い事業計画か)
⑧	創業又は設立から5年を通過しない県内のIT企業が行うもの。(自動加点)

過去の採択状況について

過年度採択者の事例はHPで公開中
「**信州ITバレー推進協議会**」とご検索ください

分野	年度	補助事業名	概要	申請数	採択数	倍率
IT	R6	コンソーシアム活用型 ITビジネス創出支援事業	上限額500万円、補助率1/2以内	16	12	1.33
	R5			14	11	1.27
	R4			17	12	1.42
	R3			15	11	1.36

事業相談について

提出する申請書類(事業計画書等)について相談したいなど
事業についてのご相談

新産業創出支援本部 ITバレー推進部 担当: **宮澤(テクノコーディネーター)**

令和6年度 補助金 採択事業者事例について

発表事業者	ITシステム開発プロジェクト名
アルティメイトプロジェクト 株式会社	【めっき業界】 DXで実現する“多品種多要件”受注業務の効率UP ～ AI活用により多様な受注票を自動でデータ化する ～
株式会社AB.do	3Dデータ高精度化による地域、業種を超えた産業DX ～観光、防災、多次元地域DB構築へ～
株式会社キャストィネット	地域企業との連携を見据えた 共創型のスマート経理支援システムの開発
有限会社ケー・アンド・エフ コンピュータサービス	『生成AIを活用した校務負担軽減のための 教育支援DXプロジェクト』
株式会社ズー	認知機能低下予防への新たなアプローチ 「エンタメヘルスケアアプリ」の利用拡大について
株式会社SKIDAY	スキー・スノーボード向け最新コンディション情報共有 プラットフォーム「SKIDAY LIVE」の構築
株式会社ソルティスター	中小企業でも導入可能な遠隔監視サービス
株式会社羽生田鉄工所	人工衛星データによる上水道漏水推定箇所の調査
ハリコム株式会社	Dual Detector “IBUTSU”（AI異物検査機）
マリモ電子工業株式会社	地域活用を目指すローコストなローカル5Gインフラの開発

※ 昨年度は、採択事業者12件中10件に補助金を交付

採択事業者事例（株式会社ズー様）



夢庭 yumeniwa

気軽にゲームをしながら
認知機能の安定化(脳トレ)
心理療法効果(箱庭療法)
社会参加(コミュニケーション)
が期待できるエンタメヘルスケアアプリ

箱庭
エーション豊富な
施設やデコで
コミュニケーション

育成
可愛い動物(ファミリア)を
仲間にしてお世話する

脳トレ
様々なミニゲームで
自然と脳トレ習慣が身につく

アプリがメインターゲットである「アクティブシニア層」に届かない課題

→民間事業者(保険会社等)や大学などと連携し、新たな訴求方法で『利用拡大』

採択事業者事例（株式会社ズー様）



2月12日～26日の期間
「上田市コラボレーションイベント」
ゲーム内で開催

コンソーシアムの一員である大学から技術指導を受け
歩数連携機能/脳年齢等測定(スコアリング)機能を開発
→ 合わせて **6機関** との連携



「ジモコラウォーク 長野県上田市」

歩数をカウントして上田市のランドマークを目指します。

各ランドマークに到達すると、ゆかりのアイテムやご当地キャラゆきたんを獲得できます。

ゲーム内で上田市のランドマークについて知ることができます。

お問い合わせ・申込先

新産業創出支援本部 ITバレー推進部 担当:宮澤、高橋、岩間

〒380-0928

長野県長野市若里1-18-1 長野県工業技術総合センター3階

TEL:026-217-1635 E-mail:cons-it-hojo@nice-o.or.jp